° WOFFEED (No.23)

涼しげな風鈴の音が聞こえる季節となりましたが皆さんはいかがお過ごしですか。「いの町史編さん室だより」は掲載23回となり、毎回、町史編さん作業で知り得たことや体験したことなどを町民の皆さんに紹介しています。そして、町の合併10周年を目標に「いの町史」の編さんの作業を進め、町民の皆さんが参加する町史づくりを目指しています。

それでは、町史編さん業務で気付いた話をどうぞ。

編さん業務で気付いた「知っちょりますか? 覚えちょりますか?」 編

編さん委員の中村千代重

この校舎に見覚えのある方もたくさんおられると思います。里山 風景ともマッチし、懐かしい時代の学校生活を思い起こされる人も 多いのではないでしょうか。玄関を入りますと正面に階段があり黒 光りのする手摺と子どもたちの手によって長い年月がかかって磨き あげられた艶のある廊下が目に飛び込んできます。

ここは、1996年ベルリン国際映画祭に銀熊賞(準グランプリ) を受賞した、「絵の中のぼくの村」のロケ地になった学校(旧清水 第二小学校)です。

右側には、廊下と2教室があり、くの字になった階段を2階に上がると、廊下、教室いっぱいに雑然と置かれた数百点の古い民具があります。

覚えちょりますか?

今から50年くらい前(昭和40年代)公民館が中心になって各家庭にある古い道具の寄贈を呼び掛けた活動があったことを。

その時、集まった農耕の道具(すき、せんば、とうみ)、養蚕の道具(糸とり機、機織り機、おさ、糸巻き機)、住まいの道具(湯たんぽ、自在かぎ、長持ち)、そのほか、食事の道具、商いの道具、山仕事の道具とたくさんの、それぞれに懐かしい思い出のこもった品々が所狭しと置かれています。詳しく見てみると道具には、寄贈くださった方の名前が名札に記されているものもあります。

一点一点に寄贈してくださった方、御先祖ご家族の方の思いがこもっているものと思います。この思いを無にしないよう、50年以上たった今町民の皆さんの目に触れられるように是非展示し、子ど



旧清水第二小学校



旧清水第二小学校の校舎内



集まった農耕道具の数々

もたちには社会科の学習の教材として、また、昔の生活の証として長く残していきたいものであります。

伊野小学校にも40年ぐらい前から3年生の社会科の学習資料として、毎年保護者の方の協力のもとにお構いの無いものを持ち寄ってもらって、できあがったミニ博物館があります。新しく建つ校舎に古い道具を展示するコーナーを設けるとの話を聞いて子どもたちにとっては素晴らしいことだと思っています。

そして「吉野川の最奥地」として、また「平家伝説、寺川郷談と歴史に記録を留める越裏門の越裏門小学校を山岳観光の基地」として、地区の歴史、戦前・戦後・現在の山岳関係資料、石鎚山の高知県側の地質・岩石・化石や和田計幸先生の造られた石鎚山系の山野草園をいかした"宿泊施設を備えた展示館"を、寺川越裏門地区に造ってはどうかという提言をもらっています。

休校の越裏門小学校を活用して「山岳博物館」を、旧下八川小学校の空き教室を活用して吾北の 民具と休・閉校中の学校の宝物の「民具館」を、行政だけでなく、町民みんなで考えてみてはどう でしょうか。

問い合わせ・連絡先

 いろんな情報 をお待ちして

います。

いのちょうしちゃん